

## <保健体育部会>

### I 研究主題

「指導のねらいを明確にした指導・評価計画の研究開発」

—各観点の着眼点の明確化と具体例の研究開発—

### II 研究の概要

○ 本研究開発においては、信頼性の高い教師の評価活動を進めるために、観点別学習状況の評価における各観点の考え方を示すとともに、この考え方に基づいた教師による生徒の適切な評価の着眼点を導き、併せて、着眼点の具体例を示した。

さらに、実践事例として、指導・評価計画において、着眼点及びその具体例を関連付けるとともに、学習指導案において、「思考・判断」の観点の評価を重点化した事例を作成し、着眼点の具体例を示した。

### III 研究の内容

#### 1 保健体育科における観点別学習状況の各観点の考え方（例示）

観点別学習状況の各観点に基づく評価を行う際に、必要な考え方を明確化して示した。

各学校において保健体育科の教師が各観点の考え方を共通理解し、その上で評価規準の作成及び生徒の学習活動を評価することができるようにした。

#### 2 各観点の着眼点及びその具体例の作成

保健体育科における観点別学習状況の各観点の考え方及び趣旨を基に、学習指導要領解説保健体育編に示されている「技能」「態度」「学び方」の内容を分析し、各観点の着眼点を導き出した。また、各単元において、4つの観点を重点化する着眼点の具体例を示し、教師による評価活動のねらいが一層明確になるようにした。

#### 3 「思考・判断」の評価を重点化した学習指導案の作成

観点別学習状況の評価にある「思考・判断」の観点を重点化した学習指導案を作成した。

1時間の授業において「思考・判断」を重点的に評価するために着眼点及びその具体例を示した体育分野『球技』（バスケットボール）、保健分野『感染症とその予防』の学習指導案を作成し、評価方法を記述した。

### IV 保健体育科における4観点の考え方（例示）

保健体育科の目標の達成に向けて、4観点の考え方を示すことは、教師による評価規準の作成や指導方法の見直し・改善に向けて必要な基礎的・基本的事項であるにとらえ、次のように例示した。

「運動や健康・安全への関心・意欲・態度」

・運動の合理的な実践への動機付け、健康の保持・増進への気付きにおいて、主体(生徒)の「運動したい」「競争したい」「健康についてもっと知りたい」などという興味や欲求が、運動の特性や健康課題と結び付き、自発的な活動へと促されるようになる。＜初期の段階＞また、学習状況に応じて、「運動の楽しさを味わいたい」「健康や安全に関することを自分の生活に役立てたい」などという思いや願いを実現しようと、自主的な活動へつながりを膨らませるようになる。＜展開の段階＞さらに、これらの自発的・自主的な活動による運動が繰り返されることによって、その活動が持続的なかかわりに発展し、継続性のある主体(生徒)の学習となって現れるようになる。＜発展の段階＞

このようなことから『関心・意欲・態度』については、初期の段階から展開の段階、発展の段階へとつながり相互に関連し合う情意的側面としてとらえることとする。

### 「運動や健康・安全についての思考・判断」

- ・運動の合理的な実践、健康の保持・増進の具体的な活動において、自発的・自主的な活動が行われるようになると「できるようになりたい」「よりうまくなりたい」「もっとよく知りたい」などの自己の目標を達成するために、現在の自己の能力・適性に応じて、他者の技能を見たり真似たり、複数の概念を関連付けて資料を調べ活用したりするなどして、課題の設定・発見やその解決の方法を考えるようになる。

このようなことから『思考・判断』については、今ある知識や技能等及び個々の情意的側面を基盤とし、課題に応じて適切な学習内容・方法を選択し、工夫・改善したりするなどの総合的な認知的側面としてとらえることとする。

### 「運動の技能」

- ・運動の合理的な実践の具体的な活動において、各運動には、その固有の構造的特性としての合理性・普遍性のある技術的構造があり、それを一人一人の能力・適性に応じて獲得する技能があることを認識する必要がある。その技能の習得においては、各運動のもつ強度・スピードなどがあり、自己の体力的要因とも関連している。また、生徒一人一人の身体の発育・発達状況や技能の習得状況及び学習への適応状況などの個人内差に応じた課題のあり方とも深くかかわっている。

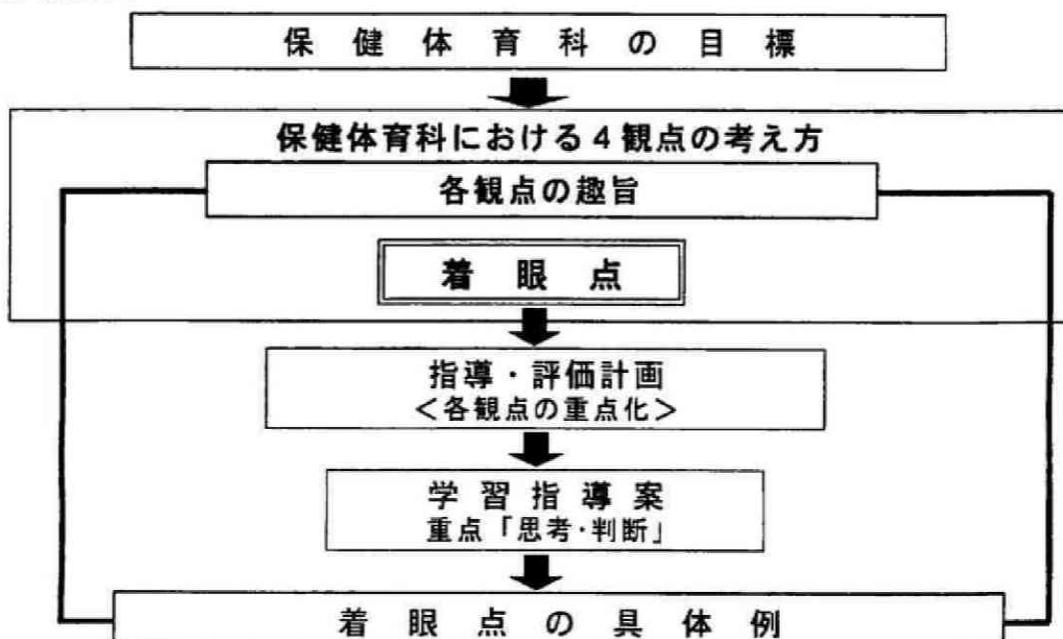
このようなことから、『技能』については、各運動(表現)の楽しさを味わい合理的な内容・方法を身に付け、体力の向上を図る上で、運動の特性に応じた集団の課題や自己の能力に適した課題への達成状況等の構造的・効果的側面としてとらえることとする。

### 「運動や健康・安全についての知識・理解」

- ・運動の合理的な実践、健康の保持・増進を効果的に進めるためには、運動や健康の内容について深く理解し、それを単に知識として蓄積するだけではなく、適切にかつ効果的に活用することで、運動や生活に生きて働くことができるようにすることが期待される。言い換えれば、運動や健康の内容について深く理解するということは、一人一人が自らの考えを試したり、技能を発揮したりする過程及び結果を通して、より深めながら獲得していくものと考えられる。

このようなことから、『知識・理解』については、運動の合理的な実践、健康の保持・増進に必要な基礎的・基本的な事項を身に付け深めるとともに、運動や生活に生きて働く力の基盤となる側面としてとらえることとする。

## V 研究構想図



## VI 体育・保健分野における各観点の着眼点

各観点の考え方及び趣旨から次のとおり着眼点とその具体例を導き出した。

### 1 体育分野の4観点の着眼点及びその具体例

「運動への関心・意欲・態度」の観点の趣旨

- ・自ら進んで運動の楽しさや喜びを体得しようとする。また、公正、協力、責任などの態度を身に付けるとともに、健康・安全に留意して運動しようとする。

「評価標準・評価方法等の研究開発」国立教育政策研究所教育課程研究センター

観点	着眼点	着眼点の具体例
運動への関心・意欲・態度	①主体性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し練習しようとしているか。</li> <li>・新しい技や記録に挑戦しようとしているか。</li> <li>・仲間や教師にアドバイスを求めようとしているか。</li> <li>・学習資料を参考にしようとしているか。</li> </ul>
	②責任・協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の役割（グループ内含）を果たそうとしているか。</li> <li>・アドバイスや励まし等の声かけをしようとしているか。</li> <li>・仲間に援助（補助等）をしようとしているか。</li> </ul>
	③公正性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審判の判定や勝敗の結果を受け入れようとしているか。</li> <li>・ルールを守ろうとしているか。</li> </ul>
	④健康・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・からだの調子を整えて運動しようとしているか。</li> <li>・用具や器具の安全を確かめて使用しようとしているか。</li> <li>・安全のための決まりや約束を守ろうとしているか。</li> </ul>
	⑤継続性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①～④を恒常的に行っているか。</li> </ul>

「運動についての思考・判断」の観点の趣旨

- ・運動の特性に応じて、自己やグループの能力に適した課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。

「評価標準・評価方法等の研究開発」国立教育政策研究所教育課程研究センター

観点	着眼点	着眼点の具体例
運動についての思考・判断	①課題の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の能力に適した課題を設定しているか。</li> <li>・指導のねらいに沿っためあてを設定しているか。</li> <li>・自己の学習の到達状況に応じて新たな課題を設定しているか。</li> </ul>
	②活動内容の決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の能力に適した学習計画を作成しているか。</li> <li>・課題の解決に向けた活動内容となっているか。</li> <li>・学習資料や仲間のアドバイス等を基にして学習内容を決めているか。</li> </ul>
	③練習方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習資料（記録、目標値等含）・教材教具等を活用して練習を工夫しているか。</li> <li>・自他のチームに応じてルールやゲームの仕方を工夫しているか。</li> <li>・自他のチームに応じて作戦を立ててゲーム等を行っているか。</li> <li>・課題の解決に向けて場の工夫をしているか。</li> <li>・既習経験を生かして練習を工夫しているか。</li> </ul>
	④自己・相互評価の仕方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己のレディネス（準備状況）を把握しているか。</li> <li>・自己の学習の到達状況を把握しているか。</li> <li>・自己の学習の成果を把握しているか。</li> <li>・他者からの評価を自己評価に生かしているか。</li> </ul>

「運動の技能」の観点の趣旨

- ・ 自己の能力に適した課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の特性に応じた技能を身に付けている。また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。

「評価標準・評価方法等の研究開発」国立教育政策研究所教育課程研究センター

観点	着眼点	着眼点の具体例
運動の技能	①運動技能の習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 種目の特性に応じた基礎・基本的な技能ができているか。</li> <li>・ 個々の技能を組み合わせることができているか。</li> <li>・ ねらいに応じた運動（表現）ができているか。</li> <li>・ 集団の中で自己の技能を発揮できているか。</li> </ul>
	②自己の能力に応じた習得状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目指している技能ができているか。</li> <li>・ 設定した目標や課題等を達成できているか。（記録・技の難易度等）</li> </ul>
	③体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己の能力に応じて体力を高める運動ができているか。</li> <li>・ 自己の目的に応じて体力を高める運動ができているか。</li> </ul>

「運動についての知識・理解」の観点の趣旨

- ・ 運動の特性と学び方、安全の確保の仕方、生活における運動の意義、体ほぐし・体力の意義及び運動の心身にわたる効果に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。

「評価標準・評価方法等の研究開発」国立教育政策研究所教育課程研究センター

観点	着眼点	着眼点の具体例
運動についての知識・理解	①運動の特性や学び方の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己に応じた学習計画の立て方を理解しているか。</li> <li>・ 自己やチームの能力に応じた課題の設定の仕方を理解しているか。</li> <li>・ 自己やチームの課題を解決するための方法を理解しているか。</li> <li>・ 教材・教具の正しい使用の仕方を理解しているか。</li> <li>・ 練習時等における傷害の予防や対処の仕方を理解しているか。</li> <li>・ 生活の中で運動を実践する方法を理解しているか。</li> </ul>
	②体ほぐし・体力の意義と運動の効果の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体ほぐしの運動のねらいについて理解しているか。</li> <li>・ ねらいに応じた運動の選択・活用の仕方を理解しているか。</li> <li>・ 体力の要素と内容を理解しているか。</li> <li>・ 体力の向上を図るために必要な運動の種類、強度、時間、頻度等を理解しているか。</li> <li>・ 運動と心身の関係や適切な運動の効果などを理解しているか。</li> </ul>
	③技能の構造の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技能の要点・系統性等を理解しているか。</li> <li>・ 戦術（集団的技能）を理解しているか。</li> <li>・ 各運動種目に必要な技能の内容を理解しているか。</li> </ul>
	④ルールの理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 競技に必要なルールを理解しているか。</li> <li>・ ゲームの運営の仕方を理解しているか。</li> <li>・ 審判の方法を理解しているか。</li> <li>・ 記録測定等の仕方を理解しているか。</li> </ul>

## 2 保健分野の3観点の着眼点及びその具体例

### 「健康・安全への関心・意欲・態度」の観点の趣旨

・自他の心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、進んで学習に取り組もうとする。

【評価規準・評価方法等の研究開発】国立教育政策研究所教育課程研究センター

観点	着眼点	着眼点の具体例
健康・安全への関心・意欲・態度	①主体性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら資料等を活用して調べようとしているか。</li> <li>・発問に対して答えようとしているか。</li> <li>・自ら課題をもって学習に取り組もうとしているか。</li> <li>・学習したことを自己の生活に結び付けようとしているか。</li> </ul>
	②協力性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間にアドバイスをしようとしているか。</li> <li>・仲間の意見や発表を聞こうとしているか。</li> <li>・仲間と教え合いながら学習しようとしているか。</li> <li>・自己の役割り分担を果たそうとしているか。</li> </ul>
	③継続性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①②を恒常的に行っているか。</li> </ul>

### 「健康・安全についての思考・判断」の観点の趣旨

・自他の心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に考え、選択すべき行動を適切に判断している。

【評価規準・評価方法等の研究開発】国立教育政策研究所教育課程研究センター

観点	着眼点	着眼点の具体例
健康・安全についての思考・判断	①課題の発見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の身近な生活等に基づいて課題を発見しているか。</li> <li>・学習資料等の活用から課題を発見しているか。</li> <li>・地域社会から課題を発見しているか。</li> <li>・単元のねらいに沿ったためあてを設定しているか。</li> </ul>
	②学習内容の決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解決に向けて、計画的に学習を進めているか。</li> <li>・学習資料等を活用して、学習内容を決めているか。</li> </ul>
	③調べ方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習資料・教材教具を活用して学習の仕方を工夫しているか。</li> <li>・自己の生活経験等を生かして学習の仕方を工夫しているか。</li> <li>・学習資料等の収集・整理(分析・考察)をしているか。</li> </ul>
	④自己評価の仕方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間の意見や発表を自己の学習に生かしているか。</li> <li>・自己のレディネス(準備状況)を把握しているか。</li> <li>・自己の学習の習得状況や成果を把握しているか。</li> </ul>

### 「健康・安全についての知識・理解」の観点の趣旨

・健康・安全の意義を理解するとともに、心身の機能の発達や心の健康、健康と環境、傷害の防止、健康な生活と疾病の予防について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。

【評価規準・評価方法等の研究開発】国立教育政策研究所教育課程研究センター

観点	着眼点	着眼点の具体例
健康・安全についての知識・理解	①用語の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用語の意味を理解しているか。</li> <li>・用語を日常生活や身近な環境等と関連付けて理解しているか。</li> </ul>
	②資料の活用の仕方とその理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習資料の活用の仕方を理解しているか。</li> <li>・発表の仕方を理解しているか。</li> </ul>
	③実習技能の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習技能を身に付けるための方法を理解しているか。</li> <li>・実習技能を生活で活用する場面を理解しているか。</li> </ul>

Ⅶ 指導事例

1 体育分野「球技」

(1) 選択制授業（球技：バスケットボール・バレーボール）指導・評価計画（第2学年 11時間扱い）

<学習のねらい>

- チームや自己の能力に適した課題をもって運動を行い、技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開したゲームができる。
- チームにおける自己の役割を自覚し、協力して練習やゲームができるようにするとともに、健康・安全に留意できる。
- チームや自己の能力に適した課題の解決を目指して、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習やゲームの行うことができる。

※着眼点の欄の○数字は、本資料3・4ページ体育分野の4観点に表記してある着眼点を示している。

段階	時数	学習内容 学習活動	着眼点				着眼点の具体例
			関	思	技	知	
学 習 I	1	【オリエンテーション】 ・種目を選択する。 ・学習の進め方の確認する。 （学習資料・カードの活用の仕方、活動マナーの確認等） ・グルーピングをする （チーム決め、役割決め）				①	・自己に応じた学習計画の立て方を理解しているか。
	2	【試しのゲーム】 ・各運動の特性に触れ、楽しさや喜びを味わう。 ・自己の能力に応じた種目を選択する。	③				・ルールを守ろうとしているか。
	3	・ルールを確認する。 【学習計画を立てる①】 ・チームや自己の課題を設定する。 ・学習計画を立てる。 （練習内容の選択、ルールの工夫）		④		①	・自己のレディネス（準備状況）を把握しているか。  ・自己の能力に適した課題を設定しているか。
学 習 II	4	【バスケットボールを選択した例】 ねらい1 チームや個人の課題の解決を図るとともに、作戦を立ててゲームを楽しむ。	①				・仲間や教師にアドバイスを求めようとしているか。
	5	【課題の解決に向けた練習①】 ・練習内容を選択し、工夫する。		②			・課題の解決に向けた活動内容となっているか。
	6	⑥ ・作戦を立ててゲームを行う。		③			・自他のチームに応じて作戦を立ててゲーム等を行っているか。
	7	【第1次リーグ戦】 ・技能の程度に応じてルールを工夫する。 ・相手チームの特徴を把握する。 ・ゲーム後の評価を基に、新たな課題を設定する。			①		・集団の中で自己の技能を発揮できているか。
	8	ねらい2 技能の向上を目指して課題の解決を図るとともにチームや個人の特徴をより生かした作戦を立ててゲームを楽しむ。		①			・自己の学習の到達状況に応じて新たな課題を設定しているか。
9	【学習計画を立てる②】 ・技能の向上を目指した課題の解決に向けて学習計画を作成する。			①		・種目の特性に応じた基礎・基本的な技能ができているか。	
10	【課題の解決に向けた練習②】 ・チームや個人の特徴を生かした作戦を実施するための練習をする。 【第2次リーグ戦】	②			④	・自己の役割りを果たそうとしているか。 ・ゲームの運営の仕方を理解しているか。	
11	【まとめのゲーム】 ・練習・作戦の成果を評価する。 【全体のまとめ】		④	②		・目指している技能ができているか。 ・自己の学習の成果を把握しているか。	

※時数の欄の○数字は、本資料7ページの学習指導案の本時を示している。

(2) 本時の学習指導案（11時間扱いの6時間目）

（学習のねらい）◎＝重点

◎チームや自己の能力に応じた課題の解決を目指して、練習方法を工夫したり作戦を立ててゲームができる。

○学習計画に基づいて自ら主体的に学習活動に取り組むことができる。

○健康や安全に留意して練習やゲームができる。

	学習内容 学習活動	教師のかかわり ◎「思考・判断」の評価活動	着眼点及び着眼点の具体例 ◎＝着眼点 ・＝着眼点の具体例
はじめ 10分	1 出欠確認、健康状態の確認 2 準備運動 3 本時の学習計画の確認 ・チームごとに本時の学習計画及び課題を確認する。 ・学習カード・作戦ボードを使用して練習方法や作戦を立案する。	・チームや自己の課題を明確にして、練習に取り組むことができるように支援する。 ・学習資料を活用して、前時を振り返り、自己の技能を把握するように促す。 ◎チームや個人の課題の解決に向けた練習の工夫を学習カード等から把握し、評価する。	◎練習方法の工夫（思・判） ・既習経験を生かして練習を工夫しているか。
なか 35分	4 課題の解決のための練習 5 ゲーム -ねらい- チームや個人の課題の解決を図るとともに作戦を立ててゲームを楽しむ。 「対戦例」 ①Aチーム 対 Bチーム 審判：D アドバイス：C ②Cチーム 対 Dチーム 審判：A アドバイス：B	・チームや個人の課題の解決に向けた練習となるよう支援する。 ◎各チームが課題の解決に向けて練習を工夫している状況を観察から把握し、評価する。 ・チームや個人の能力を把握し、それぞれの能力や技能の程度に応じて作戦を立てるように助言する。 ・ゲームを通して、新たに生じてくる課題に気付かせる。 ・ゲームを通して、互いに評価し合い、互いのチームの特徴に気付かせる。 ◎各チームの作戦の内容や方法等を観察、学習カード等から把握し、評価する。	◎活動内容の決定（思・判） ・課題の解決に向けた活動内容となっているか。 -予想される活動の例- ・対面パス・2メンパス ・2対1・3対2など ◎練習方法の工夫（思・判） ・自他のチームに応じて作戦を立てて、ゲーム等を行っているか。 -予想される工夫例- ・スクリーンプレーや速攻の活用。 ・マンツーマンやゾーンディフェンスなどの活用
まとめ 5分	6 整理運動 7 本時の学習のまとめ ・チームで本時の学習活動の評価を行う。	・学習カード等を使って、チームの学習成果を把握し、次回の学習活動に生かすように助言する。	

## 2 保健分野「感染症とその予防」

(1) 指導・評価計画の例 (第3学年 4時間扱い)

〔ねらい〕

- 感染症は、病原体が環境を通じて主体へ感染することで起こる病気であることを理解できる。
- 感染症の予防には、①感染源をなくす ②感染経路を絶つ ③体の抵抗力を高めるという3つの原則があることを理解できる。
- エイズ及び性感染症の予防方法を身に付けるとともに、HIV感染者等とともに支え合って生きていく社会の重要性を理解できる。

時間	学習内容 学習活動	着眼点			着眼点の具体例
		関	思	知	
1	<p>【感染症の原因とその予防】</p> <p>ねらい1 感染症がどのようにして起こるのか、また感染経路や予防・抵抗力の基礎的な知識を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに感染症の原因と感染経路について調べ、発表する。</li> <li>・感染症の予防及び抵抗力と免疫について知る</li> </ul>		①		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習資料等の活用から課題を発見しているか。</li> <li>・用語の意味を理解しているか。</li> </ul>
2	<p>ねらい2 エイズについて、正しい知識を身に付け、日常生活では感染しないことや予防法を理解する。</p> <p>【エイズ概念と感染経路】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでインターネット等を活用し、エイズ概念と感染経路について調べる</li> </ul>	①			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら課題をもって学習に取り組もうとしているか。</li> <li>・学習資料の収集・整理(分析・考察)をしているか。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べた内容をグループごとに発表する。</li> <li>・各グループから発表した内容を学習カードにまとめる。</li> </ul>			②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の仕方を理解しているか。</li> <li>・仲間の意見や発表を自己の学習に生かしているか。</li> </ul>
4	<p>【エイズの予防】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとにエイズの予防方法について話し合い、その内容を画用紙にまとめ、発表する。</li> <li>・各グループから発表した内容を学習カードにまとめる。</li> <li>・エイズについて正しい理解をする。</li> </ul> <p>【エイズと社会問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことをまとめながら、エイズや感染症について正しい理解の基、ともに支え合って生きていく重要性を理解する。</li> </ul>	②			<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間の意見や発表を聞こうとしているか。</li> <li>・用語を日常生活や身近な環境等と関連付けて理解しているか。</li> </ul>
				④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の学習の習得状況や成果を把握しているか。</li> </ul>
				①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活や身近な環境等と関連付けて理解しているか。</li> </ul>

(2) 本時の学習指導案 (4時間扱いの3時間目)

<学習のねらい>◎=重点

◎エイズや性感染症の予防法について、日常生活を通して正しい理解をすることができる。

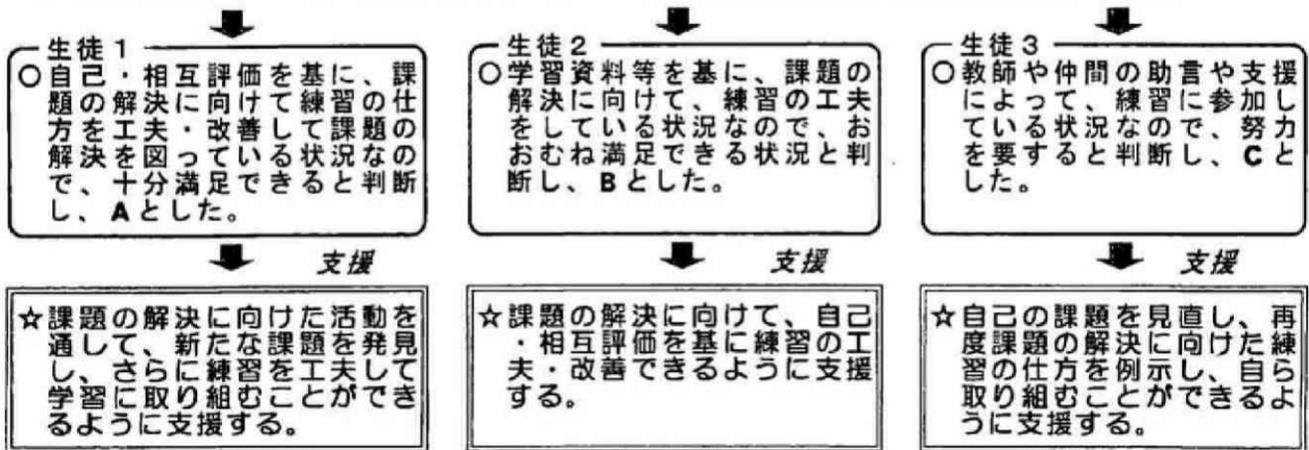
	学習内容 学習活動	教師のかかわり ◎「思考・判断」の評価活動	着眼点及び着眼点の具体例 ◎=着眼点 ・=着眼点の具体例
はじめ 5分	1 出欠確認、本時の学習内容の確認 2 グループの発表の手順の理解、発表順の確認・準備	・発表用プロジェクター準備する。 ・発表の仕方を説明する。  ・グループ毎に学習の準備状況を確認する。	
なか 35分	3 グループによる発表 ・エイズの内容、感染経路等について調べたことをグループごとに発表する (発表時間各3分)  4 発表内容のまとめ ・病原体の名称、概念、感染経路、発病までの経過等についてまとめる。  5 グループによる話し合い ・エイズについて正しい知識から予防法を話し合い、まとめる。  6 グループによる話し合いのまとめの発表 ・予防法についてグループごとに発表する。	・発表の仕方について助言する。  ◎各グループの発表内容を参考にし、学習カード等をまとめているかを把握し、評価する。  ・発表内容を参考に、エイズの内容、感染経路等についてのまとめ方を助言する。  ◎グループ内の仲間の意見を参考にし、自分の意見を学習カード等にまとめているかを把握し、評価する。 ・各グループの話し合いの内容を把握し、必要に応じて助言する。 ・まとめ方について支援する。  ・日常生活に関することを中心にとらえるよう助言する。 ・エイズについて正しい理解がされているかを発表内容及び学習カード等から把握する。	◎自己評価の仕方(思・判) ・仲間の意見や発表を自己の学習に生かしているか。 ◎資料の活用の仕方とその理解(知・理) ・発表の仕方を理解しているか。  ◎自己評価の仕方(思・判) ・仲間の意見や発表を自己の学習に生かしているか。  ◎協力性(関・意・態) ・仲間の意見や発表を聞こうとしているか。  ◎用語の理解(知・理) ・用語を日常生活や身近な環境等と関連付けて理解しているか。
まとめ 10分	7 本時のまとめ ・予防法について学習カードにまとめる。 8 次時の予告	◎日常生活では感染しないことを重点にまとめているかを学習カード等から把握し、評価する。  ・次時の連絡をする。 ・学習カードを回収する。	◎自己評価の仕方(思・判) ・自己の学習の習得状況や成果を把握しているか。

## VIII 「思考・判断」の着眼点に基づいた評価後の支援(例示)

体育分野『球技』・保健分野『感染症とその予防』の学習指導案に示してある「思考・判断」の着眼点に基づく評価後の支援例を下記のとおり示した。

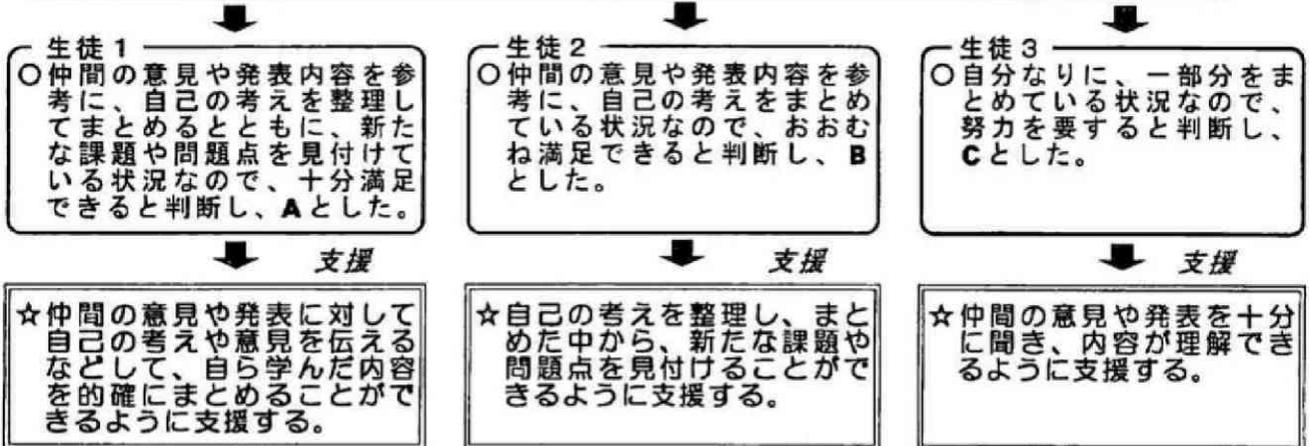
### 1 「バスケットボール」における事例

#### ③ 練習方法の工夫：課題の解決に向けた活動内容となっているか。



### 2 「感染症とその予防」における事例

#### ④ 自己評価の仕方：仲間の意見や発表を自己の学習に生かしているか。



## IX 成果と今後の課題

### 1 成果

- (1) 観点別学習状況の各観点の考え方を例示したことによって、教師間における各観点の共通理解が図りやすくなった。
- (2) 着眼点の具体例を参考にして、指導のねらいをより明確にすることができた。
- (3) 「思考・判断」を重点化した指導・評価計画及び学習指導案を例示することで、保健体育における「思考・判断」の評価例を具体的に示すことができた。
- (4) 「思考・判断」の評価後の指導事例を示すことによって、「思考・判断」を重視した指導の在り方をより深めることができた。

### 2 課題

- (1) 「思考・判断」の評価後における指導及び学習活動への支援の在り方に関する継続的な研究開発が必要である。
- (2) 生徒の学習活動において「思考・判断」を評価するための場の設定を多くし、より工夫することが必要である。
- (3) 生徒による自己・相互評価を重視し、教師の「思考・判断」の評価の参考となる学習カード等の工夫を一層図ることが必要である。